

平成30年度名桜大学観光語学人材育成講座募集要項

1 講座の趣旨

本講座は平成30年度沖縄県人材育成留学等支援事業（内閣府沖縄振興予算、琉球大学と連携）の一環として行う。本講座の実施主体は名桜大学である。

沖縄県はここ数年、来訪する外国人観光客が急激に増加しており、様々な面での課題を抱えている。その課題の中で外国人観光客からの要望が最も高いにも関わらず、長年解決できていない点が観光業従事者等の外国語能力の育成である。これまで企業や自治体による短期集中的な語学講座等の様々な取り組みがなされてきたにもかかわらず、観光業における外国語能力育成の課題に対して十分な解決の方策の見いだせていない。本講座は特に、外国語の中でも国際共通語である英語の会話能力に特化して、従来とは異なるオンライン英会話を主に用いて講座を推進する。

2 講座の特色

以下は本講座の特色である（以下、オンライン英会話と略する）。

- (1) オンライン英会話はインターネット接続の環境が整っていれば「いつでも(一部の深夜の時間を除く)、どこでも(自宅や職場)」利用でき、勤務先や勤務時間の異なる受講生に対応できる。
- (2) オンライン英会話と組み合わせて、月に一回4時間程度(合計3回)の大学英語専任教員による対面講座を受け、専門家から様々な助言を受けることができる。
- (3) 対面講座やメールによる支援を通して、さまざまなレベルや職種に応じた、英語口頭能力の育成に工夫がなされる。
- (4) 3か月間のオンライン英会話を通して、英語母語話者または訓練を受けた外国人講師とマンツーマンで最低900分以上の英会話を行う(週に3回以上、1回につき25分間の英会話を行う)。
- (5) オンライン英会話の講師は、受講生が選択することができ、受講生に合わせた英語学習環境を提供できる。
- (6) 米国の外国語能力評価機関(ACTFL)が作成した英語口頭能力テスト(OPIc)を講座の開始時と終了時に受けることにより、英語口頭能力の伸長や分析結果を知ることができる。
- (7) 講座の受講を通して、オンライン英会話の利用法を理解し、受講後も継続して自主的に利用できるようことを目的の一部としている。
- (8) 講座の受講者がインターネット上の受講者フォーラム(仮称)により、利用に関する情報や課題を共有して共有の学びの場を持つ。

3 研修スケジュール

(1) 事前研修

事前研修は、以下の日程のうち、必ず1回参加(研修内容は同じ)してください。研修内容は、スカイプの設定やオンライン英会話の利用方法、利用に関する留意事項を説明します。そのほか事前研修で、OPIcの試験を受験します。

平成30年10月27日(土) 13:00~17:00 名桜大学講義棟102教室
平成30年11月 3日(土) 13:00~17:00 名桜大学講義棟102教室
平成30年11月10日(土) 13:00~17:00 名桜大学講義棟102教室

(2) オンライン英会話研修

週に3回以上（1回につき25分）のオンライン英会話を3か月間継続的に行う。

オンライン英会話研修期間：平成30年12月1日（土）～平成31年2月28日（木）

(3) 英会話対面研修（第3回対面研修は、必ずいずれかの期日に受講してください）

【第1回対面研修】（講義内容：観光場面でのロールプレイやオンライン英会話利用の相談）

平成30年12月15日（土）13：00～17：00 名桜大学講義棟102教室

【第2回対面研修】（講義内容：観光場面でのロールプレイやオンライン英会話利用の相談）

平成31年1月14日（月）13：00～17：00 名桜大学講義棟201教室

【第3回対面研修】（内容：修了書の配布、OPIc受験、今後のオンライン利用の助言）

平成31年2月26日（火）13：00～17：00 名桜大学講義棟102教室

平成31年2月27日（水）13：00～17：00 名桜大学講義棟102教室

注) 第3回対面研修はOPIc受験があるため、必ずいずれかの期日の対面研修を受講してください。

4 受講対象者、募集人数、受講条件及び受講費用

(1) 受講対象者 沖縄県全域の観光産業従事者

(2) 募集人数 100人

(3) 受講条件

- ①英語能力が英語検定準2級以上であることが望ましい（オンライン英会話講師と25分間英会話に対応できる能力を持つこと）。
- ②インターネットの操作やEメールの送受信などの基本的なコンピュータの知識と技術を持っている。
- ③インターネットを英語学習に利用できる環境があり、スカイプを利用するためにウェブカメラ、マイク付きヘッドホンを所持する。
- ④スカイプ操作法や受講方法を説明する事前研修と対面研修（第1回から第3回）に参加する。研修の最初と最後の実施される英語口頭能力テスト（OPIc）を受ける。
- ⑤週に3回以上（1回につき25分）のオンライン英会話を継続的に行う（実施管理者がインターネット上で管理記録を確認しながら、利用を促す）。
- ⑥週に一度、英会話オンライ講座の利用状況を指定された書式を用いて簡潔にインターネット上で報告する（実施運営者から週に一度、利用のアドバイスやリマインダーを送付する）。
- ⑦講座受講中に毎月実施される英会話対面研修に参加する（第3回は、いずれかを受講すること）。

(4) 受講費用

6,000円

10月5日(金)13時に行う選考結果において、受講許可となった応募者は、10月17日(水)までに6,000円を下記の振り込み先に振り込んでください。振り込みのない場合は受講許可を取り消すことになります。

○振り込み先 1 口座名義 「公立大学法人名桜大学」
2 口座番号 「琉球銀行 名護支店:(普)820824」

注1) 振り込む際は、摘要の方に氏名を記入【記入例:メイオウタロウ】してください。

また、振込み手数料は、受講者が負担してください。

注2) この講座は、内閣府の補助事業として実施していますが、オンライン英会話利用費の一部を受講費用(6,000円)として、受講者に負担してもらいます。

5 募集期間、応募方法、受講決定の通知

(1) 募集期間 平成30年8月1日(水)～9月14日(金)17時まで

(2) 応募方法

名桜大学地域連携機構のホームページにアクセスし、申込書をダウンロード、必要事項を記入して、9月14日(金)までに **kankogogaku@meio-u.ac.jp** (メールアドレス)宛て、送信してください。

注) Eメールアドレスは、受講中に資料の送付などに用いるため、携帯電話のLINEやメールアドレスで送信しないでください。

【お問い合わせ先】

〒905-8585 沖縄県名護市字為又1220-1

公立大学法人名桜大学地域連携機構地域連携課 (TEL 0980-51-1555)

(3) 受講決定の通知 平成30年10月5日(金)13時

提出された申込書類をもとに受講者を決定し、名桜大学地域連携機構のホームページ上で掲載するほか、個人のメールアドレス宛に合否や諸連絡について通知する。なお、合否通知のない応募者については、名桜大学地域連携機構地域連携課 (TEL 0980-51-1555) に問い合わせてください。

6 テキストについて

テキストについては、異なるレベルを持つさまざまな職種からの受講生が予想されるので、事前研修で実施運営者が推奨するテキストを提示する。また、オンライン英会話の会社が独自に用意してあるテキストを利用することもできる。

7 その他について

(1) 受講時間と受講場所について

オンライン英会話は基本的に「いつでも」「どこでも」受講できるのが原則だが、先行研究によると決められた時間帯と決められた場所で受講することで効果があるとされている。本講座では、事前研修の中で、利用方法を説明後に、利用時間と利用場所について受講者に事前に申告してもらうこととなります。

(2) 目標とする英語能力の基準の概要 (ACTFL の OPIc の基準を参照に作成)

各自のレベルに応じて目指す能力は異なります。

□中級の中と下 (英検準2級、CEFR・A2 に相当)

観光のさまざまな場面で、日常的な話題は文レベルで話すことができる。会話に参加し、興味のある話題については自信を持って話すことができる。小さな文法的な誤りはあるものの、長い文を駆使し、基本的なコミュニケーションができる。

□中級の上 (英検2級、CEFR・B1 に相当)

観光のさまざまな場面で、文法的に大きな誤りがなく言語を駆使し、基本的なビジネスや会議でコミュニケーションができる。

□中級の上 (英検準1級、CEFR・B2 に相当)

観光のあらゆる場面で、自分の考えや経験を流ちょうに表現できる。討論、交渉、説得などを実の業務で駆使できる。

(3) オンライン英会話 (レアジョブ英会話) について

スカイプを用いて、訓練を受けた講師 (主にフィリピン人) が365日、朝6時から深夜1時まで対応する。一回につき、25分の英会話を行い、途中で終了することはできない。基本的にはフリートーカーだが、本講座では受講生に任せきりにするのではなく、個々のレベルやニーズに応じて、事前研修やメール相談、対面研修などを通して可能な限りプログラム化した対応を考えている。

4,000以上のテキストを講師が揃えているが、他の市販のテキストも利用することができる。事前に予約が必要で、スカイプで予約時間について講師から確認の連絡を受ける。予約した時間の20分前には少なくともコンピュータのウェブカメラ、マイク等の接続状況を整えて臨むことが望ましい。講師については、好み講師を選択することができるが人気の高い講師や予約が難しい場合もある。詳しくは、「レアジョブ英会話」をインターネットで熟読してください。

(4) OPIc について

ACTFL (米国の1967年に設立された世界最大の非営利団体) OPI は11レベルの英語能力を測定できる。これまで日本国内では、面接試験や電話による SST などに採用され、最も権威のある英語スピーキング・テストである。OPIc はインターネットで簡単に測定できる英語スピーキング・テストで韓国のサムスン社が採用したことで話題である。